

函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会

第8回会議 会議録（要旨）

1 日 時

平成30年10月18日（木）19:00～19:45

2 場 所

函館市医師会病院 5階講堂

3 出席状況

メンバー：亀谷部会長，松野副部会長，大内メンバー，星野メンバー，岩田メンバー，岡田メンバー，熊倉メンバー，石井メンバー，横山メンバー，吉荒メンバー，保坂メンバー

部会運営担当：函館市医療・介護連携支援センター）佐藤，長谷川，柳谷，鎌田

事務局：函館市地域包括ケア推進課）小棚木課長，三戸主査，栗田主事

4 議 事

○報告事項

- (1) プルダウン式，フェイスシート版サマリーについて
- (2) サマリー説明会等の開催状況について
- (3) モニタリングの結果について
- (4) ICT研修について

○協議事項

- (1) はこだて医療・介護連携サマリー Q&A集について
- (2) 今後のスケジュールについて

5 その他

次回の部会日程について

6 会議の内容

栗田地域包括ケア推進課主事

ただ今から，函館市医療・介護連携推進協議会の情報共有ツール作業部会の第8回会議を開催いたします。前回の会議でも確認いたしておりますが，この会議は原則公開により行いますので，ご了承願います。

次に，第7回の会議録についてですが，事前に各メンバーの皆様にご確認をさせていただきました。事務局の方には，特に修正のご意見がございましたので，原案どおりで，第7回会議録を確定させていただき，市のホームページ上で公開させていただきます。

続きまして、4月より部会のメンバーの交代がございましたので、ご紹介いたします。まず最初に、公益社団法人北海道看護協会道南南支部、岩田明美様。

岩田：看護協会

皆さんこんにちは。看護協会から参りました、岩田と申します。所属は函館渡辺病院になっております。2月に怪我をしてしまい、7回の会議には出る事ができず大変申し訳なく思っております。これから一生懸命頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

栗田地域包括ケア推進課主事

岩田様ありがとうございました。幹事にも交代がありましたので、ご紹介いたします。函館市医療・介護連携支援センター事務員の鎌田朋花様。

鎌田幹事

事務を担当させていただいております、鎌田と申します。宜しくお願いいたします。

栗田地域包括ケア推進課主事

鎌田様ありがとうございました。それでは本日の資料を確認させていただきます。事前に会議次第、資料1から資料5まであるのですが、資料2に関してなのですが、差し替えをおいておりますので差し替えをお願いいたします。本日お持ちでない方はいらっしゃいますか。また、あらかじめ机上に座席表と出席者名簿を配付させていただいております。ご確認ください。

小棚木地域包括ケア推進課課長

おぼんでございます。地域包括ケア推進課課長の小棚木でございます。本日は宜しくお願いいたします。まず、この司会しているものが誰かというお話ですが、すみません、初めての方もいらっしゃるかと思っておりますので本人に自己紹介をしていただきます。

栗田地域包括ケア推進課主事

すみません。今進行させていただいております、函館市地域包括ケア推進課の栗田と申します。宜しくお願いいたします。

小棚木地域包括ケア推進課課長

4月から機構改革で、新しいメンバーになりまして、いつもは私が司会進行させていただいていたのですが、世代交代ということで栗田さんをお願いしておりますので、本日は宜しくお願いいたします。

栗田地域包括ケア推進課主事

宜しくお願いします。本日の会議の議事の進行につきましては、皆様の特段のご配慮とご協力をお願いいたします。それでは、亀谷部会長お願いいたします。

亀谷部会長

はい、皆さんお仕事終了の後、お疲れのところすみません。それでは、今日は研修もありますので、巻きで進めていきたいと思っておりますので宜しくお願いしたいと思います。それでは次第に従いまして議事を進めていきたいと思っております。

まず、報告事項（１）「プルダウン式、フェイスシート版サマリーについて」と報告事項（２）「サマリー説明会等の開催状況について」を一括して佐藤幹事から説明をお願いします。

佐藤幹事

皆さんこんばんは。宜しくお願いいたします。次第、報告事項の（１）「プルダウン式、フェイスシート版サマリーについて」からご報告させていただきます。資料１をご覧ください。前回の部会にてお伝えしておりました、プルダウン式サマリーが１枚目になります。裏の方がですね、フェイスシート版サマリーになっております。こちらは介護関係者の皆様が日常的に作成されているフェイスシートとしてご活用いただければ、サマリーを使っただけの機会が増えるのではないかと考えまして、プルダウン式サマリーをアレンジするかたちで作成しております。この様式は、介護サービス計画書作成の前提として具備しなければならない「課題分析標準項目」のうち「基本情報に関する項目」というものを網羅するかたちで作成した様式となっております。プルダウン式のサマリーの様式に加えて、このフェイスシートの様式を出力できる機能が追加された内容となっております。なお、この様式につきまして、函館市保健福祉部指導監査課にもご確認いただいて、フェイスシートとして活用することについて了解をいただいておりますことを申し添えます。

続きまして、報告事項（２）「サマリー説明会等の開催状況について」ご報告いたします。資料２をご覧ください。すみません、事前にお送りしておりました資料２は一部修正がございまして、差し替えさせていただいております。こちらは、これまでに各団体、及び各機関からのお声掛けに応じて行ってまいりました、サマリー説明会の一覧になります。３月２６から２８日に開催いたしました正式運用説明会以前には２回、説明会終了後には、６回の開催となっております。一番下の平成３０年１０月１３日の第１９回日本クリニカルパス学会では、保坂メンバーがシンポジウムにてサマリーを紹介して下さっております。また、同じクリニカルパス学会では、岡田メンバーもパネルディスカッションの中で紹介して下さいまして、全国の皆さんに知っていただく機会となっております。以上、報告事項の（１）「プルダウン式、フェイスシート版サマリーについて」、報告事項（２）「サマリー説明会等の開催状況について」のご説明をさせていただきました。説明は、以上でございます。

亀谷部会長

説明ありがとうございました。それでは、報告事項（１）、報告事項（２）についてなんですが、前段から説明させていただいていた、プルダウン式等でありますので、皆さんご承知のうえだと思っております。また、特に今回のクリニカルパス学会では、保坂さん、岡田先生本当にありがとうございました。このツールのことを紹介いただきまして、函館の取り組みが全国各地に広まったと思います。まあ、これは完成形ではないことをあわせて報告していただいたんですけども、これに関しての皆さんからのご意見等につきましては、次のモ

モニタリングの結果とあわせていただきたいと思いますので、この（１）、（２）につきましては、宜しいでしょうか。このようなかたちで報告ということで。ありがとうございます。それでは、続きまして引き続き報告事項（３）「モニタリングの結果について」に関して、佐藤幹事から報告をお願いします。

佐藤幹事

報告事項（３）「モニタリングの結果について」ご報告いたします。資料３をご覧ください。医療・介護関係機関４０８件に配信いたしまして、１６５件の回収となっております。うち、（１）の情報提供に活用したことがあるという回答が６７件となっており、回収した１６５件のうち、約４０％となっております。「いいえ」と回答した機関は、９７件で５９％となっております。２ページ目ですが、「いいえ」と回答の９７件中「①機会がない」、こちらは患者さんや利用者さんが入退院する機会がなかったという内容になりますが、３９件の４０％。「②今後使用予定」が１０件の１０％、「③準備ができていない」が７件の７％となっており、今後使用予定、もしくは使用に向けて前向きな様子が伺えると捉えております。

（２）の何件サマリーを作成しているかの問いには、最少１件、最大８０件の作成をされているとの回答をいただいております。作成件数のトータルは、５１７件となっておりまして、活用していると回答いただいた、６７機関での平均作成件数は８件となっております。（２）「イどのような機会に作成し、活用しているか」の問いでは、圧倒的に入退院時が多く、９４％となっております。ウの頻度に関しましては、「入退院支援のたびに毎回」との回答が３６件の５４％、②の「対象者を選定して作成」に関しましては、２２件の３３％となっております。

（３）サマリーの見直しの必要性に関しましては、「見直しの必要性がない」という回答が７４件の４５％となっております。以降、見直し等の意見を抜粋したものを載せております。

なお、補足ではありますが、電子カルテ等の関係もあり、なかなか医療機関での活用には、時間がかかるであろうと予測しておりましたが、現在までに当センターで活用を確認できております医療機関は、函館中央病院・函館五稜郭病院・函館おしま病院・高橋病院・国立函館病院・森病院・函館市医師会病院の合計７か所となっており、少しずつではございますが、活用していただいている機関が増えてきていると捉えております。報告事項の（３）「モニタリングの結果について」のご説明は以上でございます。

亀谷部会長

佐藤幹事ありがとうございました。それでは皆さんからご意見を伺いたいと思うのですが、この第一四半期、３月から始まりまして、４・５・６の第一四半期でのアンケート、モニタリングの結果、コアメンバーの中でも色々議論はしたところであります。佐藤幹事の方からも最後に話がありましたが、医療機関のほうは、やはりなかなか退院支援加算であるとか、その加算を取るためにいろいろプロセスを踏まないといけないところがあると思いますので、各病院のソーシャルワーカーさんなり、退院支援の連携部門のスタッフは、日頃の業務でも大変なところに、このツールを使っていただいて、かなり苦勞していただいているところもあると思います。正直当院もですね、使ってはいるのですが、なかなかやはり全件に使

うという訳にはなかなかならずですね、まだまだ実際使える頻度というのは少ないのですが、これを続けていくことが有意義なのかなと私どものほうは考えておりました。先程の報告事項（１），（２）も踏まえてですね，（３）のツールのモニタリングの結果を踏まえてですね，ご感想，ご意見，自分たちの現場のなかでこういう意見があったというところをご意見いただきたいなと思いますので，横山さんから宜しいでしょうか。

横山：居宅連協

横山です。当事業所の方でも入院時にサマリーを利用することが多いのですが、どうしても全件というわけには至っておりません。先程こちらのフェイスシートの方も，うちの方では各端末に落としているのですが、利用というかたちには至っていないことが多いです，正直なところ。ただ，私一度使ったんですけど，そんなに難しくはなかったです。以上です。

亀谷部会長

ありがとうございます。続いて吉荒さんお願いします。

吉荒：訪リハ連協

そうですね。まだ始まってから6月まで，今に至るまでですけど，単純に医療機関から退院される方の各種情報の中に，このサマリートのシートを目にすることがすごく多くなったというのが第一印象で，実際に他のスタッフ，介護，看護をはじめ，リハビリもそうですし，見てどうだろうということ聞く機会があれば聞いています。コンパクトにまとまっていて分かりやすいという人もいますし，逆にこれ以外にも情報はもちろんついてくるので，重複してるんだねというような感想を言う職員もいて，本当に反応は様々かなというような印象を受けています。以上です。

亀谷部会長

ありがとうございます。続いて保坂さんお願いします。

保坂：訪看連協

このコメントをいろいろ見ていると，やはり食事形態，最終入浴，排便の記入欄がないだとか，退院後のサービス調整の連絡があっても病院からこのサマリーを貰ったことがないだとかというのが上がってくるということは，使ってくれてない病院があるからなんだろうなということがはっきり見えますね，これは。ですから，やっぱりそこは何とかして行きたいなという思いがあります。やっぱり，使ってみてなんぼの世界だと思うので，使わないじゃなくて，使ってもらおう方向に動いてもらいたいなというのがあります。実際うちのステーションはこれを全部使ってやっています。看護添書は無いです。これだけでやっています。応用の18番，真っ白いところにダーッと書いて，家族の思いも全部書いてます。そういうかたちでどんどん使っていく中で，うちのスタッフも最初はすごく抵抗があったんですけど，なんか今はすごい短時間で打てるようになりましたね。だから，これは訓練しかないんだと，慣れしかないんだと思ったので。正直言って私が一番遅いです，打つの。スタッフの方がす

ごく速くなりました。だから、やっぱり使っていないと良いか悪いかの判断ができない。うちのスタッフからもいろんな意見が出て、改行ができないって。改行ができない、これどうすればいいんだって。いや、取りあえず打ち続けろって言って。打ち続けさせてますけど。ですから、そういうことだとか、この項目もあった方がいいよねとかっていう意見も、ステーション内ででてくるので、やっぱり使ってその場から出てくる声をひろって、こういう会議に持って行って、修正していくということを繰り返していけば、もっともっと進化していくんじゃないかなというふうに考えて。うちだけはそういうふうにやっていますけど、他のステーションも取り組んでもらうように、来月の会議で言います。

亀谷部会長

ありがとうございました。いや本当に、今保坂さんのお話もそうですし、吉荒さんのお話もそうですし、もちろん横山さんのお話もそうですけど、岡田先生が説明会の時に話していただいた、本当に使ってもらわないと意味がないというのが、本当にこのツールの使い方、どんどんどんどん使っていくことによって、そのツールの意義があがってくると思っています。本当に保坂さんのステーションでそういうかたちで全部使っていただいているということですし、吉荒さんのところで、目にするのが増えてきたってというのが、すごくやっぱり僕らにしたら嬉しい傾向で、横山さんが居宅で情報を作って、意外に簡単だったというのが、ちょっと僕らもホッとしたような感想をいただきました。続きまして、またメンバーの皆さんからご意見をいただきたいと思いますが、大内先生から宜しいでしょうか。

大内：歯科医師会

歯科医師会の大内です。私たちは退院されてから、自宅なり施設なりに戻られて、落ち着いてから歯の治療ということが多く思うんですけども、実際、僕まだ一度も実物を見たことはございません。まあ、僕たちのところには、かなりのタイムラグがあるのかなと思っております。折角いいものができましたので、やっぱり2年、3年経ってからの再評価というのが必要なかなと思っております。以上です。

星野：薬剤師会

函館薬剤師会の星野です。私たち薬剤師は受け取る側なので、大きなことは言えないと思いますが、大内先生のご意見と重なるかと思いますが、良いものができたので、最終的に薬局まで見えるようなかたちができればいいかなと思っております。以上です。

岩田：看護協会

当院の状況をまずお伝えしたいなと思いますけれども、電カルの更新と重なったということと、あと既存のシートが存在しているということで、なかなか今は進んでいないというのが現状になっています。それで、皆様のご意見にあったように、まずは使ってみるというようなご意見がありましたので、当院においてもそういう方向性で動いていければなと思っております。それと、看護協会といたしましては、今7病院ということで、看護師からの発信というのも非常に大きなものがあるのかなと思っていますので、看護協会を通じて他の病院への推進というのも働きかけていきたいというふうに考えております。

亀谷部会長

ありがとうございます。是非お願いします。岡田先生お願いします。

岡田：在宅ケア研究会

僕の方は受け取る方で、五稜郭病院は全部これにしてもらっているのですが、もう見るところがはっきりわかってとても助かっています。これが全病院から同じように来ていただけると、使う方がそれぞれ違う様式で来られると、どこに何が書いてあるか各職員が見なきゃいけないので、なるべく早く全部の病院で使っていただけると、やっぱり病院側が出してくれると地域に早く広がっていくことだと思いますから。使った感じは、特にいろんな医療ケアがついてくる患者さんが多いので、その医療ケアのところは今まではっきり書いてなかったりということが多かったのが、ちゃんと経腸栄養なり胃瘻なり、そういうことが分かれて書いてあるというのがとても助かっていると思います。

亀谷部会長

ありがとうございます。熊倉さんお願いします。

熊倉：地域医療連携

まず当院の状況についてなんですけども、まだうちの病院でこのサマリーの方の活用というところには至っていないのが現状です。前回の第7回の会議に出させていただいた後、院内のサマリー系を管理する委員会の委員とも話し合いをして、やはり動かすにも大元からアタックというか、アプローチしていかなければいけないかなというところで、この委員の方とはこのツールというものがあって、こういう事業があったけども、うちは乗っかってないよということをはっきりと話しています。先日、9月26日の道南メディカ共催研修の際にも佐藤さんからこのツールについてご説明を函病の方でしていただいたというところで、その後、ある看護課長の方からこのツールについてちょっと教えてほしいということで、興味を持っていただいたりというところで、やはり核となるメンバーを見据えて、院内で活用に向けた取り組みというのを少しずつ行っているという状況です。本当に皆さんの意見にあるとおり、使ってみて慣れて標準化されていくものだと思いますので、まだそこら辺に至っていないというところでは、心苦しいところがあるのですが、また継続して取り組んでいきたいと思います。

亀谷部会長

ありがとうございます。石井さんお願いします。

石井：MSW協会

はい、まずあのプルダウン式とかフェイスシートに関しては、入力しやすくなったと私も感じておまして、生活状況等が分かりやすくなって、退院支援の参考になると思っています。モニタリングの内容から、正式運用の開始後の利用が進んでいる面が分かったことと、実際に目にする機会が現場としても増えていると感じておりました。同時に見直し等の意見

にある所属機関でツールを採用している、いないの違いもありまして、入院時に提供したが、退院時に届かないという現状も生まれていますので、引き続きの周知や各組織での取り組みが必要だと感じております。当院においても標準採用されている事業所さん等には、できるだけお返しできるように今後とも活動していきたいと思っておりました。あとはモニタリングの中にも、項目内容についても実際に利用されてからの具体的な意見も集まっていると思いましたので、大切な意見として考えていくことも必要かと感じていました。

亀谷部会長

ありがとうございます。各メンバーの皆様からお話いただきまして、かなりポジティブな意見でございました。正直3月始めた時はどこまで進めていけるかなと思ったんですけど、今回このモニタリングの結果もですね、使っていない医療機関、介護施設の中でも、約6割が、どちらかというとな今後使っていただけるようなかたちで進めてもらえるフィードバックになっていました。これに関しても、もっともっと使っていただくためにですね、大内先生もおっしゃっていただいた、2年3年アセスメントを続けていくというのは非常に大事だと思いますので、続けていく限りアセスメントは続けて、また皆さんの方に意見を伺いながらですね、ツールの肉づけをしていければなというふうに思っております。メンバーの皆さんからいただいた意見をまた親会の方にももちろん諮ったうえでですね、今後またツールの活性化につなげていきたいなと思っておりますので、まずこの(3)のモニタリングの結果についてはこの報告で了承したということで宜しいでしょうか。ありがとうございます。それでは次の議事に進めていきたいと思っております。それでは、報告事項(4)「ICT研修について」について、佐藤幹事から説明をお願いします。

佐藤幹事

報告事項(4)「ICT研修について」ですが、事前に皆様にお知らせしておりましたとおり、本日この部会終了後に、市立函館病院 医療連携課課長 崎野輝彦さんよりお話をいただく予定となっております。崎野さんには「ICT活用時の個人情報の取り扱いについて」のお話をいただく予定となっております。崎野さん宜しく申し上げます。ご報告は以上となります。

亀谷部会長

ありがとうございます。それでは、報告事項(4)については宜しいでしょうか。ありがとうございます。それではですね、次に協議事項に移りたいと思っております。協議事項の(1)「はこだて医療・介護連携サマリー Q&A集について」幹事の方から説明お願いいたします。

佐藤幹事

協議事項(1)「はこだて医療・介護連携サマリー Q&A集について」ご説明いたします。資料4をご覧ください。こちらは今回のモニタリング時に寄せられたご質問や、これまでセンターに問い合わせをいただいた質問に対し、Q&A集というかたちで回答しようという提案になります。ご質問いただきました機関には、すでに直接お答えしているところもご

ございますが、同じような疑問を感じられる方もいらっしゃるかと思います、このようなかたちで回答できればと考えた次第です。こちらは当センターホームページに掲載するかたちで公表を考えておりました、今後いただく質問に関しましても、順次追加していくかたちで考えております。このQ&A集、先ほど保坂メンバーからもお話ありました、改行ができないというところの回答も、Q3のところに載っておりますので、是非参考にいただければと思います。協議事項(1)「はこだて医療・介護連携サマリー Q&A集について」のご説明は以上でございます。この内容について、ご協議をお願いします。

亀谷部会長

ありがとうございます。メンバーの皆様の方から何かこのQ&A集について、ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。宜しいですか。特にツールを使っていくうえでは、Q&Aというのは、これからまたどんどんどんどん増えていくと思いますので、まずこれを作って肉付けしていくというかたちで進めていってほしいと思います。では、このまま継続してQ&A集の取り扱いについては承認をいただいたということで、ありがとうございます。それでは、続きまして、協議事項の(2)ですね「今後のスケジュールについて」幹事の方から説明をお願いします。

佐藤幹事

資料5をご覧ください。協議事項(2)「今後のスケジュールについて」でございますが、こちらは先ほどご報告いたしました、モニタリングの継続に関するスケジュールのご提案となります。今回のモニタリング1回です、終了せずに、今後も定期的に実施していきたいと考えております。今回のモニタリングは3か月間の期間でのモニタリングとなっておりますが、次回は平成31年1月に、平成30年7月～12月の6か月間の期間についての実施を考えております。その結果を元に今回同様、こちらの情報共有ツール作業部会にてアセスメントを実施。その後も6か月ごとの実施を予定しております。また、先ほどご承認いただきました「Q&A集」と共に、2ページ目、裏面にあります「ホームページ掲載用モニタリング結果」の、こういったかたちで当センターホームページへの掲載をいたしまして、皆さんの方にご報告できればと考えております。協議事項(2)「今後のスケジュールについて」のご説明は以上でございます。この内容について、ご協議をお願いいたします。

亀谷部会長

それではですね、協議事項(2)についてご協議いただければと思うのですが、今後のスケジュール、それとホームページへのアップですね。こんなかたちで、特にこれもご意見と言いますか、何かご質問等ございましたら挙手願いたいと思うのですが。宜しいでしょうか。こちらの方もそれでは原案どおりですね、この内容で進めていただいて、また何かありましたら直接センターの方に皆様の方からご意見いただいたり、私の方にご意見寄せていただいたりしてですね、是非メンバーの皆様から意見を伺って、またビルドアップさせていければと思いますので、宜しくお願ひしたいと思ひます。それでは、次回部会について幹事の方から説明をお願いします。

佐藤幹事

次回の部会は、先ほどご承認いただきましたスケジュールの次回のモニタリングの集計後を開催予定としておりますが、協議等を要する場合は適時ご案内させていただきたいと思っております。改めて日程等を各メンバーの方々にお伺いして開催しようと考えておりますので、ご了承お願いいたします。

亀谷部会長

それでは最後に、全体をとおしまして皆様の方から何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。宜しいですか。はい、では、他になれば全ての議事がこれで終わりましたので、進行を事務局にお返ししたいと思います。栗田さん宜しくお願いします。

栗田地域包括ケア推進課主事

はい、亀谷部会長どうもありがとうございました。それでは、以上をもちまして函館市医療・介護連携推進協議会の情報共有ツール作業部会の第8回会議を終了いたします。皆様お疲れ様でした。